平成28年度
小学校第三学年　基礎学力定着度調査

三年　組　番　名前

点

1

(1) つぎの ①と②の 文に ある ―― の主語（しゅご）（「だれが（は）」「何が（は）」）に あたる ことばを □ に 書きましょう。

① 鳥が 木の 上で 鳴いている。

鳥が

② ぼくの おとうさんは とても 力もちです。

おとうさんは

(2) つぎの ①と②の 文に ある ―― の述語（じゅつご）（「どうした（どうする）」「どんなだ」「なんだ」）に あたる ことばを □ に 書きましょう。

① わたしは 弟と いっしょに 公園で あそびました。

あそびました

② ひろしくんの たんじょう日は ぼくと 同じです。

同じです

2

下の 絵を見て 文を 作りましょう。

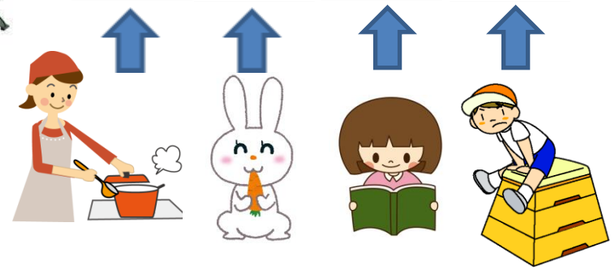
【例】 男の子が とびばこを とんでいます。

女の子が 本を 読んでいます。

うさぎが にんじんを 食べています。

おかあさんが りょう理を 作っています。

正答例以外でも次の2点を同時に踏まえていれば正答とする。
①「〇〇が」「〇〇している。」という主語・述語の関係が明確に書き表されていること。
②絵の内容から逸脱していないこと。



3

つぎの ことばを かたかなで 書きましょう。

① ぴあの …　ピアノ

② べんち …　ベンチ

③ じゃんぷ …　ジャンプ

4

(1) ―― の かん字の よみがなを（　）の 中に 書きましょう。

① とんぼの 羽。　（はね）

② 外国 の ことば。　（がいこく）

③ 作文を 直す。　（なお）

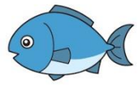
④ 空っぽの はこ。　（から）

⑤ みかんが 九つ ある。　（ここの）

(2) □ の 中に かん字を 書きましょう。

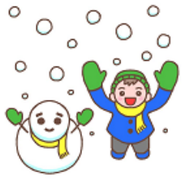
① あめが ふる。　雨

② さかなが およぐ。　魚



③ かいものを する。　買

④ ふゆが くる。　冬



⑤ わたしの いもうと。　妹

・模範解答は教科書体で記されており、「とめ」「はね」「はらい」「点の向き」等を参考にすること。
・ただし、字形の相違によって別の漢字として認識される場合（「末」「未」、「土」「士」、「大」「犬」など）を除き、指導した字形と異なる字形であっても、指導の場面や状況を踏まえつつ、柔軟に評価してよいこととする。